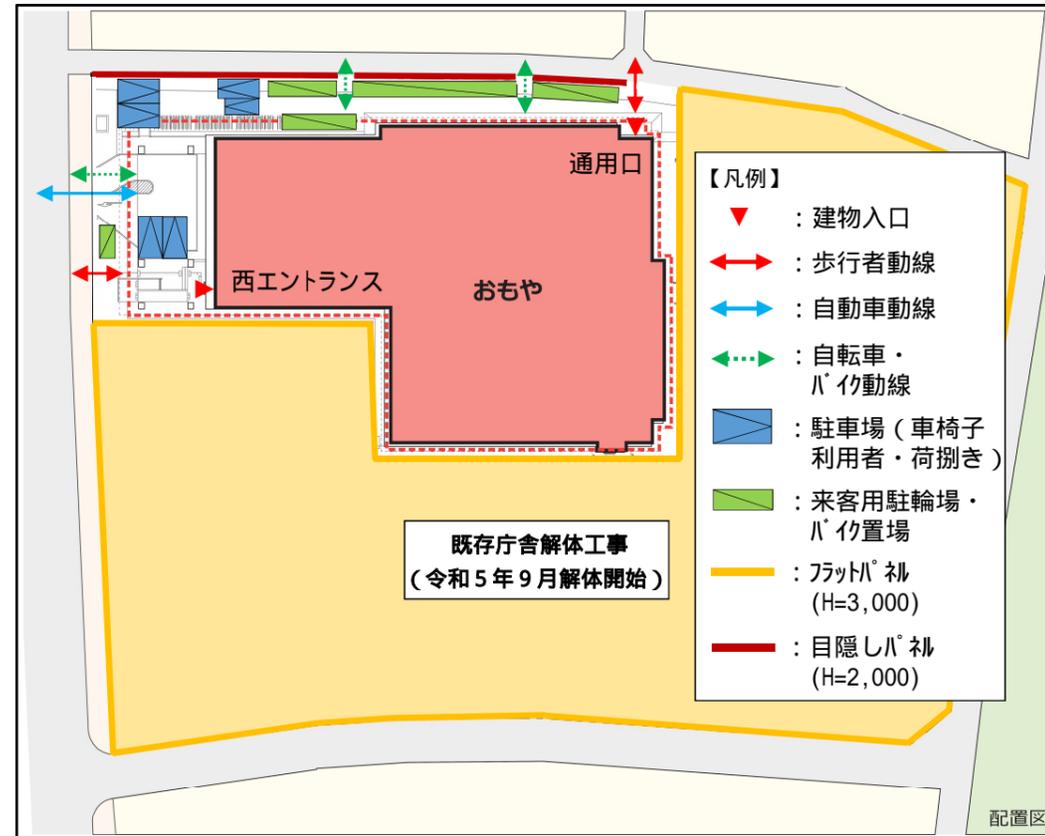


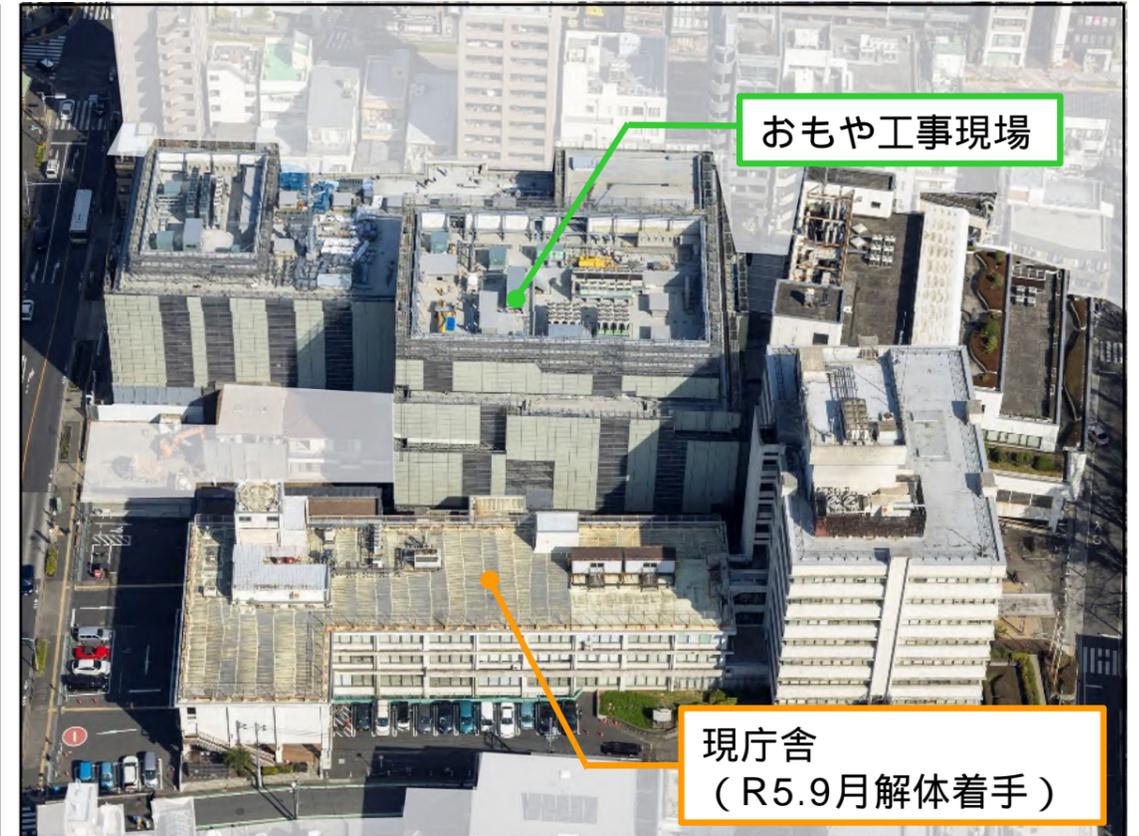
【建物概要】

敷地面積	11,064.85㎡
用途	事務所、図書館、店舗、駐車場
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造(免震構造)
階数	地上6階 地下1階
最高高さ	30.14m
延べ面積	32,362.67㎡
建築面積	6,349.29㎡

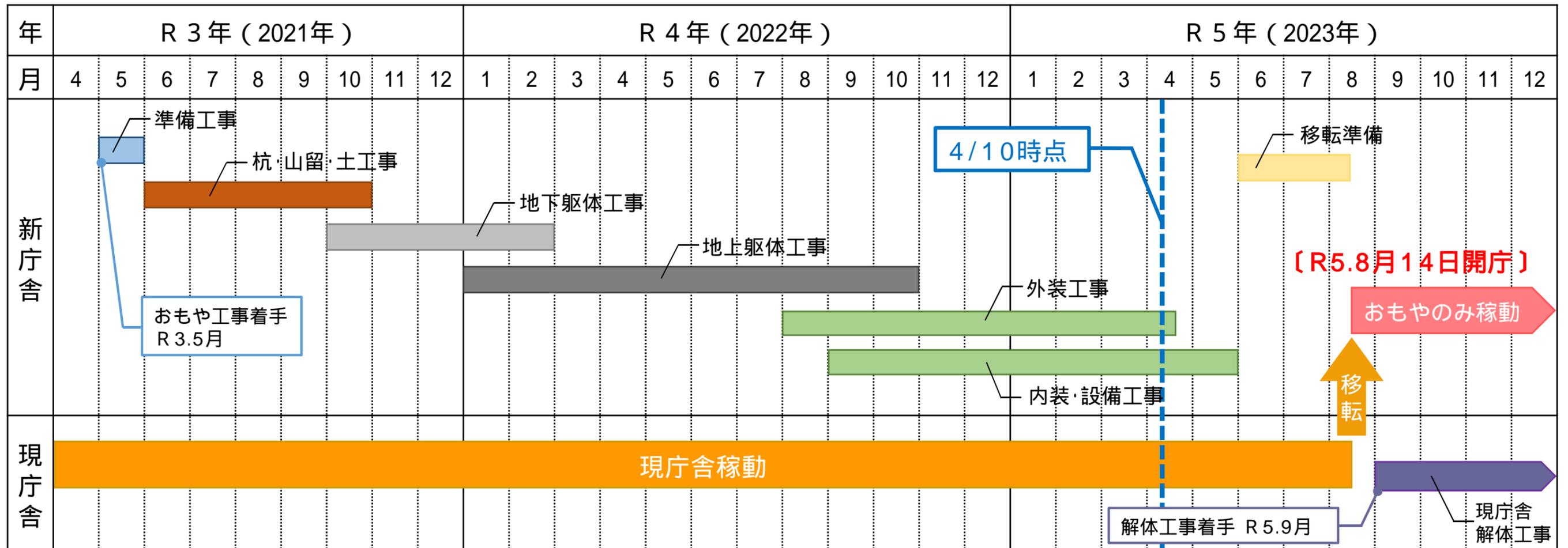
【配置計画 (おもや稼働中 R5.8月14日以降)】



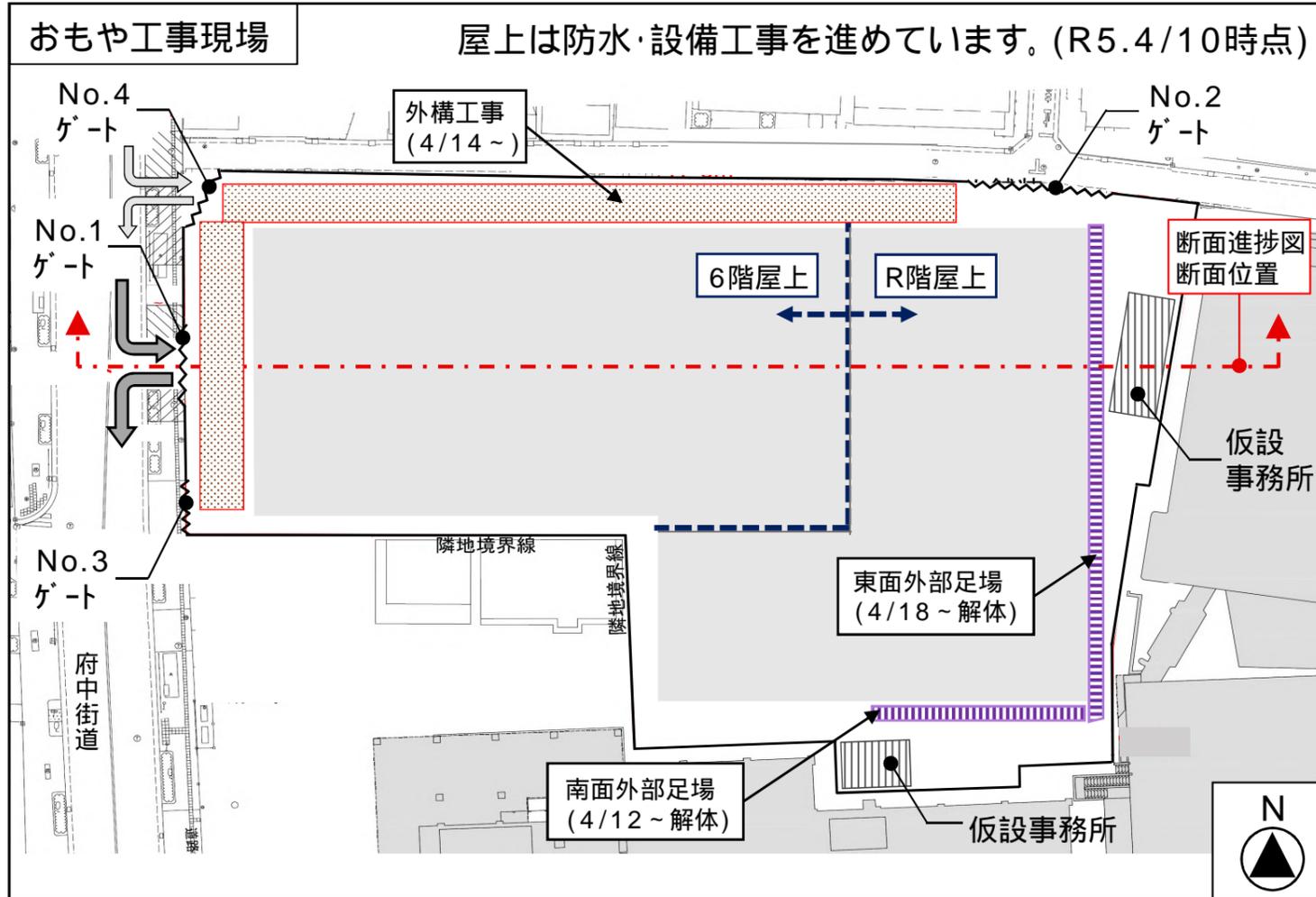
【航空写真 (R5.3月16日時点)】



【工程表】



【平面進捗図】

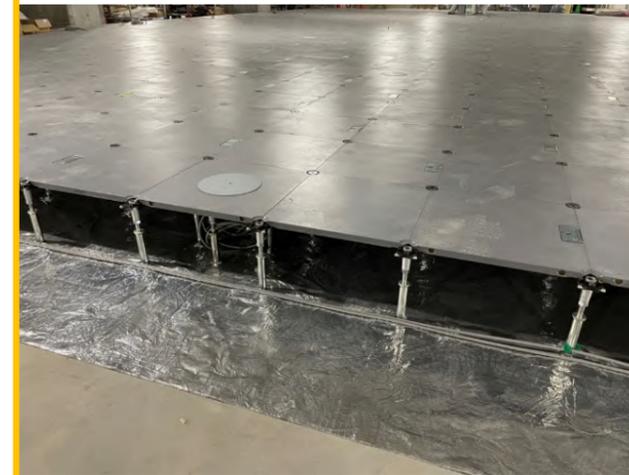


空気調和設備工事(床吹出口)



- ・新庁舎の執務エリア等では、省エネに優れた床吹出空調設備を採用しています。足元から新鮮な空気を吹き出して、室内の温湿度を快適に保ちます。
- ・吹出口は、躓いたりしないように、床材とフラットに仕上げる計画としており、見本品を作成するなどして仕上がり状況を確認しています。

床工事(OAフロア)



- ・OAフロアとは、建物の構造床の上に設置する二重床のことで、鋼製の支柱とパネルで構成しています。パネルの下の空間には、LAN、電源コードなどの電気関連の配線を敷設しています。
- ・執務室等に採用しており、部屋のレイアウト変更の際には、床下からの配線の立上げ位置を容易に変更することが可能で、更新性に配慮した計画としています。

庁舎内案内表示(サイン)工事



- ・案内表示(サイン)は、誰にとっても分かりやすく、更新性に優れた計画とします。文字の表記は視認性の良い書体とし、ピクトグラムは視覚的に伝わりやすいものとし、色彩は、歴史ある府中市をイメージし、落ち着いた古色を使用します。
- ・施工前には、現地に実物大の見本品を設置し、表示内容の大きさや見え方などを確認し、改善を重ねながら現場施工を進めています。

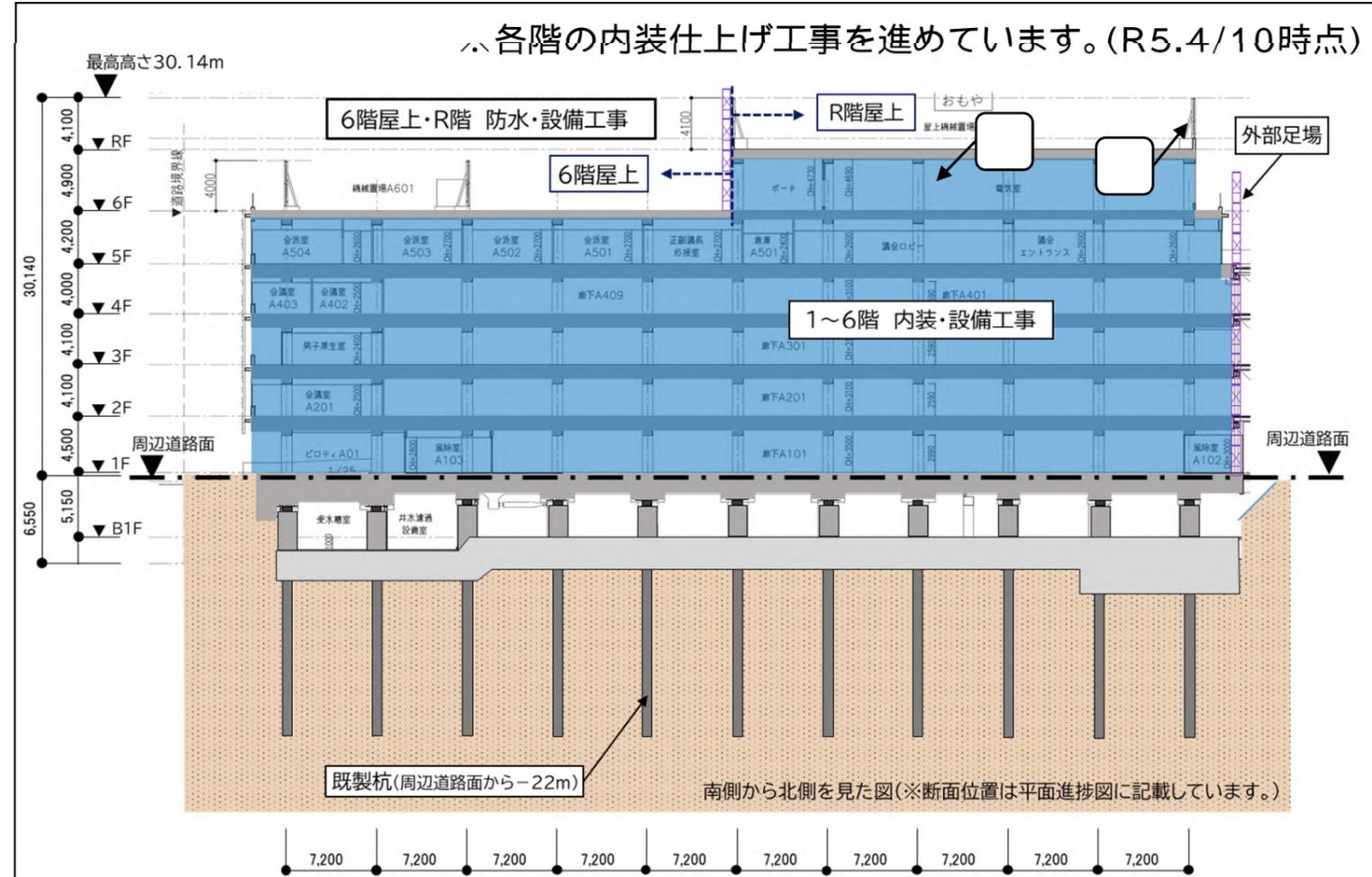
技能実習制度



- ・当現場では、ヘルメットに「技能実習生」を示すテープを貼り、作業員同士で把握できるようにしています。

- ・技能実習制度とは、外国人の技能実習生が日本において就業し、出身国にて習得が困難な技能等の修得・習熟・熟達を図るための制度です。
- ・当現場でも、約20人の実習生を受け入れており、国籍は、ベトナムやフィリピンなど多様です。日本語での簡単な会話をすることができ、誠実に現場作業に取り組んでいます。

【断面進捗図】

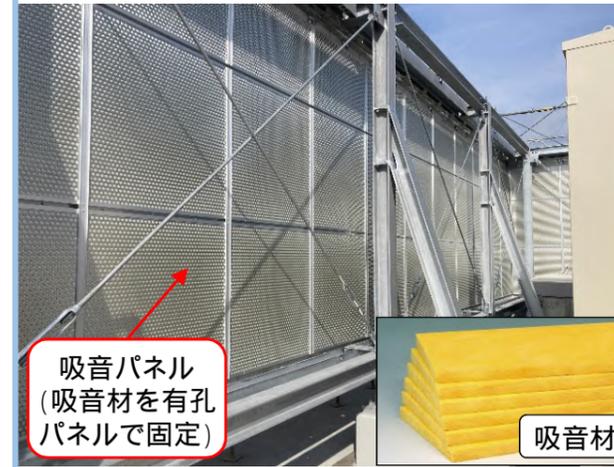


各室の施工状況(会議室・執務室・更衣室)



- ・建物の内部では内装・設備工事を進めています。徐々に施工が完了した部屋も増えてきました。5月末の引渡しに向けて順次各室の内装作業を進めています。
- ・会議室や執務室の床は、タイルカーペットを採用しており、部分的な貼替ができるなど更新性に配慮しています。色彩については、落ち着きのあるグレーや青色としています。
- ・更衣室の床は、耐摩耗性に優れた塩ビシートとしています。執務室や廊下などの共用部とは違い、温かみのある色彩を使用しています。

屋上吸音パネル



- ・屋上に設置している空調室外機の周囲には、吸音パネルを設置し、機械音の低減を図る対策をしています。
- ・吸音パネルは、撥水性に優れた吸音材(グラスウール)と耐候性に優れた有孔パネルで構成しており、事前に騒音シミュレーションをしたうえで施工します。

電気設備工事

電気室(キュービクル)



- ・キュービクルとは、電力会社の変電所から供給される高電圧の電気を、建物内で使用できる低い電圧に変圧する設備であり、各種の保護装置や計測装置、配電装置を内蔵しています。
- ・新庁舎では、本線と予備線の2回線にて電力供給を受けており、災害時に片方の回線の送電が停止したとしても、もう片方から供給を受ける計画としています。

非常発電機室



- ・本線と予備線の2回線とも送電が停止した場合においても、非常用の発電機の稼働により、照明や空調機、コンセント等に給電し、市庁舎機能を維持します。
- ・発電機は、熱効率の高いディーゼル発電機を2台搭載しており、1台がメンテナンス中であっても送電することが可能な仕組みとなっています。また、機器の下部には防振装置を設置し、下階への騒音・振動を低減します。